

一人一人の子供や学級の成長を共に認め合い、 新学年への期待を膨らませるために・・・

学年末です。「心残りのないようにしっかりとまとめをして終えたい」という思いは、教員も児童生徒も同じです。授業での学びや学校内外での活動など、児童生徒や学級の成長を共に認め合いながら1年間を締めくくり、新学年への飛躍に繋がるよう支援したいものです。



活動例

- ☑ 映像(スライドショー)で振り返る、学級の足跡
- ☑ 思い出&春休みの目標のスピーチ
- ☑ 担任からの一言メッセージ



春休みの過ごし方の留意点

子供たちに向けて・・・

- は 早寝、早起き、朝ご飯
- る ルールを守ります
- や やるぞ、勉強、予習・復習
- す すすんで、家庭でお手伝い
- み みんな元気で新学期

新学期 いいスタートがきれるように・・・

こんなことに気を付けよう

- ★学年間や校種間で丁寧な引継ぎをする。
- ★学校・家庭・地域と連携し、子供たちを温かく見守る。
- ★「学習する場」である教室環境を整える。
- ★学ぶ楽しさが実感できるような授業づくりの準備を行う。



「学校力向上コラボレーション事業(2年目)」の取組から

三好市立井川中学校 協力校：辻小学校・西井川小学校

「徳島版読解力」を生かした学力向上
「めあて」「振り返り」の見直し・活用による授業改善

◇研究授業を通じた、教職員の学び合い

【体育】基礎基本の習熟と応用
タブレットを使ってチームの課題を
話し合い、可視化・言語化する



◇ホワイトボードを活用した授業研究・自校の課題の共有化

【課題・改善点の考察】
・スモールステップによる達成感の向上
・目標や学習の流れを明示する
・学習のガイダンスの提示



〈生徒の変容〉

・自分の考えをすすんで発表したり、他の人の意見を認めつつ、自分の考えを述べようとする意識や態度が育っている。

〈教師の変容〉

・小中それぞれの実践について情報交換し、共有し合うことにより、授業改善、教職員一人一人の資質向上につながっている。また生徒理解が進み、日常の指導に効果があった。授業での「徳島版読解力」を意識した取組が促進された。

実践拠点校(協力校)

☆城東小学校

(協力校：城東中学校、福島小学校、沖洲小学校)

☆大松小学校

(協力校：宮井小学校、方上小学校、渋野小学校、論田小学校、南部中学校)

☆横見小学校

(協力校：阿南第一中学校、中野島小学校、宝田小学校、大野小学校、長生小学校)

☆瀬戸中学校

(協力校：明神小学校)

☆山川中学校

(協力校：山瀬小学校、高越小学校)

☆美馬中学校

(協力校：美馬小学校)

☆井川中学校

(協力校：辻小学校、西井川小学校)

☆上勝中学校

(協力校：上勝小学校)

☆藍住中学校

(協力校：藍住西小学校、藍住南小学校)

☆三加茂中学校

(協力校：加茂小学校、三庄小学校)

詳しくは
こちら↓



<https://siryoku.tokushima-ed.ac.jp/Academic%20Improvement%20Collaboration%20Project>